

総合科学教育研究センター教員個人業績

凡 例

以下は、秋田県立大学総合科学教育研究センター所属教員の2013年1月1日から2013年12月31日までに公表あるいは実施された主な業績を示すものである。業績の分類は、以下の5つのカテゴリに従った。

- I 著書・学術論文等
- II 学会報告等
- III 社会活動・受賞等
- IV 講演・公開講座等
- V その他の活動

高橋 秀晴 教授

I 著書・学術論文等	<p>* 著書</p> <p>1) 『多喜二の文学、世界へ／2012小樽小林多喜二国際シンポジウム報告集』(小樽商科大学出版会)、2013年3月31日(共著、全428ページ)</p> <p>2) 『東北近代文学事典』(勉誠出版)、2013年6月10日(共編著、全840ページ)</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) 高橋秀晴「点描／秋田の近代文学と女性」『mari*mari Life』(秋田魁新報社)2012年10月26日～2013年10月25日、連載全24回(単著)</p> <p>2) 高橋秀晴「滝田樗陰小説原稿考」『日本近代文学館年誌』(日本近代文学館)2013年3月20日、第8号、102～110ページ(単著)</p> <p>3) 高橋秀晴「武者小路実篤と秋田」『秋田文学』(秋田文学社)2013年9月9日、第4次第22号、130～134ページ(単著)</p> <p>* 書評</p> <p>1) 高橋秀晴「大和田茂著『社会運動と文芸雑誌—『種蒔く人』時代のメディア戦略—』『社会文学』(日本社会文学会)2013年7月25日、第38号、132～133ページ(単著)</p> <p>* 監修</p> <p>1) 『人物ガイド／秋田の文学を知ろう』(あきた文学資料館)2013年12月(全57ページ)</p>
II 学会報告等	<p>* 学会報告</p> <p>1) 「『円本』、地域、文学」新潮社記念文学館・改造社研究会シンポジウム、2013年3月24日(於：新潮社記念文学館)</p> <p>2) 高橋秀晴「クラルテ運動と『種蒔く人』」日本比較文学会東北大会、2013年11月30日(於：カレッジプラザ)</p>
III 社会活動・受賞等	<p>* 社会活動</p> <p>1) 秋田県立秋田南高等学校学校評議員、2005年4月～</p> <p>2) 秋田県高等学校教育研究会国語部会顧問、2006年7月～</p> <p>3) あきた文学資料館収集検討委員、2007年4月～</p> <p>4) 秋田県立博物館協議会委員、2007年7月～2013年7月</p> <p>5) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査会委員、2007年11月～</p> <p>6) A B S秋田放送番組審議会副委員長、2008年7月～</p> <p>7) 秋田県青少年環境浄化審議会会長、2010年1月～</p> <p>8) 私大・短大魅力アップ支援事業審査委員会委員、2010年6月～</p> <p>9) 第29回国民文化祭仙北市実行委員会【秋田の文学・作家を語る】企画委員、2012年10月～</p> <p>10) 秋田県芸術選奨選考委員、2013年3月～</p> <p>11) 秋田市公文書管理委員会委員、2013年5月～</p>

	<p>12) 「家族におくる一冊」メッセージコンテスト選考委員会座長</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) 日本近代文学会東北支部運営委員、1995年5月～</p> <p>2) 日本社会文学会評議員、2007年7月～</p> <p>3) 地域文化研究会 AKITA 事務局長、2009年4月～</p> <p>4) 日本比較文学会東北支部幹事、2009年6月～</p> <p>5) 日本近代文学会東北支部事務局長、2009年7月～2013年7月</p> <p>6) 『東北近代文学事典』編集委員、2009年10月～2013年6月</p> <p>7) 日本社会文学会理事、2011年6月～</p> <p>8) 『社会文学』第37号編集・査読委員、2012年7月～2013年2月</p> <p>9) 日本近代文学会東北支部夏季福島大会運営、2013年7月6日</p> <p>10) 日本比較文学会東北支部東北大会運営、2013年11月30日</p> <p>11) 日本近代文学会東北支部冬季仙台大会運営、2013年12月23日</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p>	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 放送大学秋田学習センター面接授業「秋田の風土と文学」、2013年1月5、6日（於：放送大学秋田学習センター）</p> <p>2) 民主文学第37回山の文学学校「プロレタリア文学の作家たち」2013年1月11～13日（於：ホテル山王閣）</p> <p>3) 秋田市女性学習センター講座「矢田津世子の素顔」2013年1月29日（於：サンパル秋田）</p> <p>4) 秋田市女性学習センター講座「山田順子と秋田」2013年2月12日（於：サンパル秋田）</p> <p>5) 平成24年度美の国カレッジ特別公開講座「三湖に魅せられた文人たち」、2013年3月3日（於：小坂町交流センター・セパーム）</p> <p>6) 平成24年度美の国カレッジ特別公開講座「県南の文学と女性」、2013年3月10日（於：羽後町コミュニティセンター）</p> <p>7) 日本詩人クラブ秋田大会2013「秋田の近現代文学—文学史との関わりを視野に入れて—」2013年5月11日（於：ホテルサンルーラル大潟）</p> <p>8) 秋田県高文連文芸部会平成25年度文芸セミナー「芥川龍之介「羅生門」の謎」、2013年6月4日（於：ジョイナス）</p> <p>9) 日本文学同好会「タネマキスト・今野賢三」、2013年6月23日（於：あきた文学資料館）</p> <p>10) 平成25年度美の国アクティブカレッジ「田沢湖と文学」、2013年7月27日（於：仙北市角館交流センター）</p> <p>11) 教員免許状更新講習「秋田の近代文学」、2013年7月29日（於：秋田県立大学）</p> <p>12) 新屋図書館市民文化講座「新屋図書館移転開館15周年記念／「旧食糧倉庫の地から秋田の文学を語る」、2013年8月25日（於：秋田公立美術大学社会貢献センター・アトリエももさだ）</p> <p>13) 高校生のための文学講座「中島敦「山月記」を読む」、2013年8月31日（於：あきた文</p>

	<p>学資料館)</p> <p>14) 平成25年度秋田県高等学校教育研究会国語部会中央地区国語教育研究大会講演会「作品としての現代文定番教材―「羅生門」「山月記」「こころ」の可能性を探る―」2013年9月19日（於：秋田県立男鹿海洋高等学校）</p> <p>15) 秋田市女性学習センター講座「松田解子作品の中の女性像」2013年9月20日（於：サンパル秋田）</p> <p>16) 秋田市女性学習センター講座「松田解子作品の中の女性像（文学散歩）」2013年9月27日（於：松田解子文学記念室）</p>
<p>V その他の活動</p>	<p>* 助成研究</p> <p>1) 平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「新資料による金子洋文研究」（課題番号24520221）研究代表者</p> <p>2) 大学コンソーシアムあきた平成25年度学際的研究プロジェクト「秋田県の活性化のための調査研究」共同研究者</p> <p>* 報告書等</p> <p>1) 「新資料による小牧近江研究」（科学研究費補助金成果報告書、2013年6月）（単著）</p> <p>2) 「初公開資料による小林多喜二研究」（平成24年度学長プロジェクト研究成果報告書、2013年9月16日）（単著）</p> <p>* 新聞・雑誌掲載等</p> <p>1) 「小林裕子著『女性作家評伝シリーズ12壺井栄』『社会文学』（日本社会文学会）2013年2月25日、第37号、206～207ページ（単著）</p> <p>2) 「研究発表印象記」「日本比較文学会東北支部会報」2013年3月1日、VOL.18、8～9ページ（単著）</p> <p>3) 「支部だより」「日本近代文学会「会報」」2013年4月1日、第118号、31～32ページ（単著）</p> <p>4) 「大量死と個人」『社会文学通信』（日本社会文学会）2013年5月10日、第97号、4ページ（単著）</p> <p>5) 「支部だより」「日本近代文学会「会報」」2013年9月1日、第119号、39～40ページ（単著）</p> <p>* 記事・取材協力等</p> <p>1) 出演「秋田銀行スペシャル／ふるさと秋田再発見シリーズ／秋田人物伝～矢田津世子～」(AKT 秋田テレビ) 2013年1月26日、15:00～16:00</p> <p>2) 「情報チャンネルa／近代文学講座」『広報あきた』No.1785、2013年1月18日、19ページ</p> <p>3) 「生誕地から全国へ／第48回県多喜二祭に寄せて」『秋田魁新報』、2013年2月13日</p> <p>4) 「大学人国記Ⅲ」『文教ニュース』、2013年3月18日</p> <p>5) 「敏腕編集者作家にあこがれ／中公主幹滝田栲陰の小説発見」『読売新聞』夕刊、2013年3月19日</p>

- 6) 「中央公論主幹・滝田樗陰／名編集者の小説発見／芥川や谷崎発見」『読売新聞』、2013年3月27日
- 7) 「「円本」の功績を考察／仙北市でシンポ／宣伝に着目「画期的」」『秋田魁新報』、2013年3月28日
- 8) 「秋田市出身の名編集者・滝田樗陰／短編2編、初の活字化／日本近代文学館「年誌」に掲載／主人公に自身を反映か」『秋田魁新報』、2013年3月31日
- 9) 「大潟村で開く全国大会／日本詩人クラブ秋田大会に寄せて」『秋田魁新報』、2013年4月26日
- 10) 「日本詩人クラブ／11日、大潟村で全国大会／本県初、シンポや講演」『秋田魁新報』、2013年5月3日
- 11) 「日本詩人クラブ秋田大会／「地方ならではの詩を」／120人参加しシンポ」『秋田魁新報』、2013年5月12日
- 12) 出演「秋田銀行スペシャル／ふるさと秋田再発見シリーズ／秋田人物伝～佐藤義亮～」(AKT 秋田テレビ) 2013年5月25日、15:00～16:00
- 13) 「東北ゆかりの作家網羅／「文学事典」を刊行／県立大高橋教授「興味や研究深めて」」『秋田魁新報』、2013年6月18日
- 14) 「東北ゆかりの作家「事典」に／石川達三・小林多喜二から現役作家まで／日本近代文学会東北支部が出版」『朝日新聞』、2013年6月19日
- 15) 「明治以降の作家876人……宮沢賢治、太宰治の逸話など紹介／東北の近代文学集約／研究者ら編集、「事典」完成」『河北新報』、2013年6月25日
- 16) 「戦後の昭和農政を背負った地からの発信／秋田大会2013開催される」『詩界通信』第63号、2013年6月30日、1～4ページ
- 17) 「東北の近代文学網羅／事典刊行800人以上紹介／県立大教授ら「文化発信で復興協力」」『読売新聞』、2013年7月25日
- 18) 「『東北近代文学事典』日本近代文学会東北支部・編／作家たちに大きな影響」『秋田魁新報』、2013年7月28日
- 19) 「大学研究の特色学ぶ／高校1年生108人参加／ガイダンス始まる／潟上市」『秋田魁新報』、2013年8月4日
- 20) 「東北近代文学一冊で網羅／収録800人以上／疎開先での作家／震災巡る動きも」『朝日新聞』(東京版)、2013年8月17日
- 21) 「近代文学講座「松田解子の中の女性像」」「協和の鉾山と松田解子文学を伝える会会報」第18号、2013年11月20日、12～13ページ
- 22) 「追想メモリアル／地元出身の作家／矢田津世子を研究／小野一二さん」『秋田魁新報』、2013年11月30日
- 23) 「街プレーバック／矢田津世子『神楽坂』／粋な風情に包まれ恋人安吾と連れ立ち」『朝日新聞』夕刊、2013年12月6日

総合科学教育研究センター個人業績

	<p>* 被書評・引用・言及等</p> <p>1) 言及「安曇平」『麒麟』(太田・民主文学を読む会) 2013年3月1日、第14号、6、11ページ</p> <p>2) 言及「ハナさん、あなたはしあわせでしたか。」『海風』(『海風』編集委員会) 2013年3月16日、第21号、100ページ</p> <p>3) 参考文献『出版文化人物事典—江戸から近現代・出版人1600人』(日外アソシエーツ) 2013年6月25日、181ページ</p> <p>4) 書評『『東北近代文学事典』日本近代文学会東北支部・編/作家たちに大きな影響』『秋田魁新報』、2013年7月28日</p> <p>5) 参考文献『多喜二・百合子研究会会報』(多喜二・百合子研究会) 2013年8月20日、第201号、10ページ</p> <p>6) 言及・引用「処女作「逃げた娘」から「髭と鉱石」へ」『私の読んだ松田解子』(松田解子の会)、2013年11月13日、第4集、15、17、18、19ページ</p>
--	---

小松田 儀貞 准教授

I 著書・学術論文等	<p>* 著書</p> <p>1) 小松田儀貞「バイオテクノロジーと生政治(バイオポリティクス)の未来—生命科学/技術と現代社会のゆくえ—」北川隆吉・中山伸樹編『科学・技術革新・人間(21世紀への挑戦4)』日本経済評論社、2013年、53～87ページ(単著)</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) 小松田儀貞「[生物学的シティズンシップ]論の意義と課題」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2013年、第14号、15～23ページ(単著)</p> <p>2) 谷口吉光、小松田儀貞「八郎湖流域住民の意識と八郎湖再生の方向」『八郎湖流域管理研究』(秋田県立大学) 第2号、2013年、69～84ページ(共著)</p> <p>3) 小松田儀貞「岩手県藤沢町における地域包括ケアシステムの形成と展開」『社会学研究』(東北社会学研究会) 第92号、2013年、15～38ページ(単著)</p>
II 学会報告等	<p>* 学会報告</p> <p>1) 谷口吉光、小松田儀貞「FIT 導入後の秋田県における風力発電事業の動向」第48回環境社会学会大会、2013年12月14日(於：名古屋市立大学滝子キャンパス)</p> <p>2) 小松田儀貞、谷口吉光「戦前期秋田における電力事業の展開——今日的状況への示唆として」第48回環境社会学会大会、2013年12月14日(於：名古屋市立大学滝子キャンパス)</p> <p>* 研究会報告</p> <p>1) 小松田儀貞「避難者および避難者支援～秋田の動き」基盤研究(A)「東日本大震災と日本社会の再建——地震、津波、原発震災の被害とその克服の道」定例研究会、2013</p>

	年9月10日（於：福島大学サテライト街なかランチ舟場）
<p>Ⅲ 社会活動 ・受賞等</p>	<p>*社会活動</p> <p>1) エフエム秋田番組審議委員、2008年4月～（副委員長2010年4月～）</p> <p>2) 秋田うつくしま県人会事務局、2011年7月～</p> <p>3) 秋田県立博物館協議会委員（副会長）、2013年7月～</p> <p>4) 「秋田ゆかりの映画祭」実行委員会委員、2013年12月～</p> <p>*フォーラム運営</p> <p>1) あきた新エネルギー研究会・科研費「エネルギーの地域自主管理」研究グループ主催「公開フォーラム 地域の資源を地域で活かす～これからの秋田の再生可能エネルギー～」司会、2013年12月1日（於：ホテルメトロポリタン秋田）</p>
<p>Ⅳ 講演・公開講座等</p>	<p>*講演・公開講座</p> <p>1) 災害あきた会議「学生のための災害ボランティア講座」講師「県内避難者について」2013年4月20日（於：カレッジプラザ）</p> <p>2) 秋田県高等教育課 高校生未来創造支援事業 キャリア教育総合推進事業講師「将来設計ガイダンス」2013年8月3、4日（於：秋田県総合教育センター、秋田県立大学）</p> <p>3) 秋田県生涯学習センター講座講師「"復興支援のかたち" 震災復興への支援とは～秋田の大学生ボランティアの活躍～」2013年9月14日（於：秋田県生涯学習センター）</p>
<p>Ⅴ その他の活動</p>	<p>*助成研究</p> <p>1) 2012～2015年度基盤研究（A）「東日本大震災と日本社会の再建——地震、津波、原発震災の被害とその克服の道」（研究課題番号：24243057）（研究代表者・加藤眞義福島大学教授）研究協力者</p> <p>2) 2012～2014年度基盤研究（C）「エネルギーの地域自主管理システムの構築に関する環境社会学的研究」（研究課題番号：24530636）（研究代表者・谷口吉光秋田県立大学教授）研究分担者</p> <p>*寄稿</p> <p>1) 小松田儀貞「"ノイズ"に耳を澄ます」『ひとづくりともものづくり——秋田県立大学の挑戦』秋田魁新報社、2013年、170～171ページ</p> <p>2) 小松田儀貞「復興支援のかたち 震災復興への支援とは～秋田の大学生ボランティアの活躍～」『東北大学秋田県同窓会会報』第21号、2013年10月1日、4～5ページ</p> <p>*その他</p> <p>1) エフエム秋田「The message of Labo」出演（放送日2013年5月22日）</p>

小池 孝範 准教授

I 著書・学術論文等	<p>*学術論文等</p> <p>1) 小池孝範「学校教育において「自尊感情」をはぐくむことの意義について——ジェームズの思想から——」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2013年3月31日、第14号、25～36ページ（単著）</p> <p>2) 紺野祐、走井洋一、<u>小池孝範</u>、清多英羽、奥井現理「「教育」概念の分析と再構築に関する研究(2)」『秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学部門』（秋田大学教育文化学部）2013年3月31日、第68号、75～86ページ（共著）</p> <p>*Proceeding</p> <p>1) 小池孝範「自尊感情と行」『日本仏教教育学研究』（日本仏教教育学会）2013年5月30日、第21号、151～155ページ（単著）</p>
II 学会報告等	<p>*学会報告</p> <p>1) 小池孝範「道徳とキャリア教育——勤労観・職業観の視点から——」日本道徳教育学会第81回大会、2013年6月23日（於：國學院大学）</p> <p>2) 小池孝範「禅の労働観と人間形成」日本仏教教育学会第22回学術大会、2013年12月7日（於：武蔵野大学）</p> <p>3) 渡部昌平、渡部諭、<u>小池孝範</u>「目標志向性の高い学生の進路選択の「きっかけ」について—「きっかけ」を含めた進路選択の構造についての探索的研究」第11回日本教育カウンセリング学会研究発表大会ポスター発表、2013年8月10日（於：富山大学）</p>
III 社会活動・受賞等	<p>*社会活動</p> <p>1) 『プロテウス』編集委員、2012年1月～</p> <p>2) 『日本仏教教育学研究』常任編集委員、2012年4月～</p> <p>3) 東北教育哲学教育史学会役員（監査）、2012年9月～</p>
IV 講演・公開講座等	<p>*講演・公開講座</p> <p>1) 秋田県教育研究会特別支援教育部会、平成24年度 特別支援教育冬期研修会講師「特殊教育から特別支援教育へ——インテグレーションとインクルージョンの理念をふまえて——」2013年1月7日（於：秋田県立秋田きらり支援学校）</p> <p>2) NPO やまがた育児サークルランド主催、みんなが集まれる場所づくり研修会 講師「みんなが集まる場所づくり」2013年2月28日（於：山形市男女共同参画センター）</p> <p>3) 免許状更新講習講師「教育の最新事情領域」2013年8月7日（於：大館市クラウンパレス秋北、プラザ杉の子）</p> <p>4) 秋田県高等教育課 高校生未来創造支援事業 キャリア教育総合推進事業講師「将来設計ガイダンス」2013年8月3、4日（於：秋田県総合教育センター、秋田県立大学）</p>

<p>V その他の活動</p>	<p>* 助成研究</p> <p>1) 平成25年度科学研究費補助金(基盤研究(C))「小中高大を貫く効果的な「仕事理解」の内容・方法の具体化に関する研究」(研究課題番号1000090610874)、2013年4月～2016年3月、研究分担者</p> <p>2) 平成24年度(財)文教協会研究助成「「未来展望」を持つ学生を育てるキャリア教育に向けて」研究分担者</p> <p>* 書評</p> <p>「和田修二・皇紀夫・矢野智司編『ランゲフェルト教育学との対話——「子どもの人間学」への応答——』『日本仏教教育学研究』(日本仏教教育学会)2013年5月30日、第21号、114～120ページ</p> <p>* 学会開催報告</p> <p>「2012年度 教育学関連学会大会報告『日本仏教教育学会第21回学術大会』『教育学研究』(日本教育学会)2013年6月30日、第80巻第2号、285ページ</p> <p>* 報告書等</p> <p>平成24年度(財)文教協会報告書「「未来展望」を持つ学生を育てるキャリア教育に向けて」分担執筆</p>
-----------------	--

内山 応信 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>* 著書</p> <p>1) 『健康・スポーツ科学のための R による統計解析入門』(杏林書院)2013年8月1日(共著)</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) Kawabata H, Demura S, <u>Uchiyama M</u>, Takahashi K 「Relations among dynamic balance tests and a coordination test using center of pressure to pursue a randomly moving target.」『Perceptual and Motor Skills』2013年12月、第117巻3号、811～820ページ(共著)</p> <p>2) Kubota T, Demura S, <u>Uchiyama M</u> 「Effects of repeat training of the controlled force exertion test on dominant and non-dominant hands.」『American Journal of Sports Science and Medicine』2013年、第1巻3号、47～51ページ(共著)</p> <p>3) Kawabata H, Demura S, <u>Uchiyama M</u> 「Effects of differences in manipulation and supporting legs and moving target speed on a visual tracking test using center of pressure.」『Advances in Physical Education』2013年12月、第3巻4号、205～208ページ(共著)</p> <p>4) Sato S, Demura S, <u>Uchiyama M</u> 「Risk assessment of and targeted intervention for falls in the elderly based on the relationship between physical function levels and risk factors for falls.」『Advances in Aging Research』2013年8月、第2巻3号、87～93ページ(共著)</p>
-------------------	--

	<p>5) Miyaguchi K、Demura S、Sugiura H、<u>Uchiyama M</u>、Noda M 「Development of various reaction abilities and their relationships with favorite play activities in preschool children.」『Journal of strength and conditioning research』2013年10月、第27巻10号、2791～2799ページ（共著）</p> <p>6) Demura T、Demura S、<u>Uchiyama M</u>、Sugiura H 「Examination of factors affecting gait properties in healthy older adults: focusing on knee extension strength, visual acuity, and knee joint pain.」『Journal of geriatric physical therapy』2013年7月3日（共著）[Epub ahead of print]</p> <p>7) <u>Uchiyama M</u>、Demura S、Sugiura H 「The mobility performance of the elderly before, during and after crossing over an obstacle.」『Human Movement』2013年1月、第13巻4号、294～302ページ（共著）</p> <p>8) Demura S、Yamada T、Yamaji S、<u>Uchiyama M</u> 「L-ornithine hydrochloride ingestion increased carbohydrate oxidation but not lipid oxidation during submaximal endurance exercise following resistance exercise.」『Advances in Bioscience and Biotechnology』2013年1月、第4巻1号、81～88ページ（共著）</p> <p>* Proceeding</p> <p>1) <u>内山応信</u>、出村慎一、宮口和義、辛紹熙「片脚立位時の足圧中心動揺特性と片脚立ちテストとの関係—足圧中心動揺の経時的変化を考慮した基礎検討」『体力科学』（日本体力医学会）2013年12月1日、第62巻6号、493ページ（共著）</p> <p>2) 内田雄、出村慎一、<u>内山応信</u>、川端悠「注意の持続と片脚立位時重心動揺の関係」『体力科学』（日本体力医学会）2013年12月1日、第62巻6号、636ページ（共著）</p> <p>3) 川端悠、出村慎一、中田征克、<u>内山応信</u>「フォームラバー上における開眼及び閉眼時の重心動揺の加齢変化」『体力科学』（日本体力医学会）2013年12月1日、第62巻6号、636ページ</p>
<p>II 学会報告等</p>	<p>* 学会報告</p> <p>1) <u>内山応信</u>、出村慎一、川端悠、辛紹熙「大学生の抑うつ症状と生活習慣の関係—横断データによる基礎資料—」日本体育測定評価学会第12回大会、2013年2月23日（於：湘南とつか YMCA）</p> <p>2) 川端悠、出村慎一、北林保、<u>内山応信</u>「体性感覚情報を攪乱させた場合の COP 動揺の加齢変化」日本体育測定評価学会第12回大会、2013年2月23日（於：湘南とつか YMCA）</p> <p>3) 辛紹熙、出村慎一、長澤吉則、<u>内山応信</u>、渡邊恒、松岡敏男「低酸素環境下トレーニングが VO₂max および最大下運動時の VO₂に及ぼす影響」日本体育測定評価学会第12回大会、2013年2月23日（於：湘南とつか YMCA）</p> <p>4) <u>内山応信</u>、出村慎一、中田征克、杉浦宏季、坪内伸司「Relationship between mental health and physical fitness in Japanese university students」第61回日本教育医学会大会（於：大韓民国済州大学アラクキャンパス）</p>

	<p>5) 佐藤進、出村慎一、松浦義昌、<u>内山応信</u>「The prevalence of falling and status of physical function among elderly individuals with locomotive and visual/hearing disorders」第61回日本教育医学会大会（於：大韓民国済州大学校アラキャンパス）</p> <p>6) 北林保、出村慎一、<u>内山応信</u>、川端悠「Evaluating the effects of external vibrator stimuli on body sway in the standing position」第61回日本教育医学会大会（於：大韓民国済州大学校アラキャンパス）</p> <p>7) <u>内山応信</u>、出村慎一、「大学生における体力と精神的健康との関連—横断資料に基づく性別の基礎的検討—」第64回日本体育学会（於：立命館大学びわこ・くさつキャンパス）</p> <p>8) 北林保、出村慎一、中田征克、<u>内山応信</u>、菅野紀昭「動揺因子を利用した個人動揺パターンの体調変化」第64回日本体育学会（於：立命館大学びわこ・くさつキャンパス）</p> <p>9) 重谷将司、出村慎一、<u>内山応信</u>、徐寧「三段跳びの助走歩数の違いが跳躍距離に及ぼす影響」第64回日本体育学会（於：立命館大学びわこ・くさつキャンパス）</p> <p>10) <u>内山応信</u>、出村慎一、宮口和義、辛紹熙「片脚立位時の足圧中心動揺特性と片脚立ちテストとの関係—足圧中心動揺の継時的変化を考慮した基礎検討—」第68回日本体力医学会大会（於：日本教育会館、学術総合センター）</p> <p>11) 内田雄、出村慎一、<u>内山応信</u>、川端悠「注意の持続と片脚立位時重心動揺の関係」第68回日本体力医学会大会（於：日本教育会館、学術総合センター）</p> <p>12) 川端悠、出村慎一、中田征克、<u>内山応信</u>「フォームラバー上における開眼および閉眼時の重心動揺の加齢変化」第68回日本体力医学会大会（於：日本教育会館、学術総合センター）</p> <p>* ワークショップ</p> <p>1) 内山応信「日本体育学会測定評価分科会企画統計相談、測定・調査・テスト部門、統計相談員」日本体育学会64回大会、2013年8月28日（於：立命館大学びわこ・くさつキャンパス）</p> <p>* 学会報告座長</p> <p>1) 第64回日本体育学会口頭発表セクション、2014年8月28日（於：立命館大学びわこ・くさつキャンパス）</p>
<p>Ⅲ 社会活動 ・受賞等</p>	<p>* 社会活動</p> <p>1) 秋田県スポーツ科学センター AKITA スーパーわか杉っ子発掘プロジェクト実効委員会委員、2011年5月～</p> <p>2) 秋田県スポーツ科学センターアスリート総合診断アドバイザー、2009年5月～</p> <p>3) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査委員会委員、2010年4月～</p> <p>4) 秋田市北部バレーボール指導者会小学生バレーボール大会実行委員会副委員長、2010年2月～</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) 第64回日本体育学会大会（立命館大学）測定評価学会優秀発表審査員（口頭発表部門）、</p>

総合科学教育研究センター個人業績

<p>II 学会報告等</p>	<p>* 学会報告 1) 高階悟「高大連携授業への挑戦」日本リメディアル教育学会 第9回全国大会、2013年8月29日（於：広島修道大学）</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p>	<p>* 社会活動 1) 秋田県 TOEIC 推進協議会 副委員長（2008年4月～） 2) 東北英語教育学会 理事（2006年4月～） 3) 日本リメディアル教育学会 理事（2013年9月～） 4) 秋田英語英文学会 運営委員（2006年4月～） 5) 日本アメリカ文学会東北支部 会計監査（2012年4月～）</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p>	<p>* 講演・公開講座 1) 大学高校連携授業「コンピュータを使っての英語の授業」（秋田西高校生12名、金足農業高校5名、秋田北鷹高校2名）、2013年7月21日（於：秋田県立大学）</p>
<p>V その他の活動</p>	<p>* 報告書等 1) 「グアム大学夏期語学研修2013」を企画、学生募集、学生への説明会実施グアム大学夏期語学研修（2013年9月1日～9月15日）学生20名の引率 グアム大学、アメリカ・帰国後「グアム大学夏期語学研修」の報告会を実施、2013年11月7日 2) 教育報告「コンピュータを利用した英語学習」『ひとづくりとものづくり：秋田県立大学の挑戦』 秋田魁新報社、2013年7月19日、p.174-175</p>

高橋 守 教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>* 学術論文等 1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart 「Basic principles of creative writing in SLA」、『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2013年3月31日、第14号、57-66ページ（共著） 2) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi、「Choosing a graded reader: Plot-driven versus character-driven stories」『Extensive Reading in Japan』（全国語学教育学会 多読研究部会）2013年10月、第6巻2号、14-16ページ（共著）</p>
<p>II 学会報告等</p>	<p>* 学会報告 1) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi、「Motivating students by talking about novels: on character-driven novels and plot-driven novels」全国語学教育学会（JALT）分野別研究部会2013年次大会、2013年5月18日（於：南山大学） 2) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi、「Motivating students by talking about</p>

総合科学教育研究センター個人業績

	<p>novels」全国語学教育学会（JALT）秋田支部例会、2013年5月25日（於：ジョイナス）</p> <p>3) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart、「The Use of Imagery in Learning Vocabulary」全国語学教育学会 CALL/ER 分野別研究会、2013年6月1日（於：信州大学）</p> <p>4) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi、「Plot-driven vs. character-driven novels」日本アメリカ文学会東北支部例会、2013年12月21日（於：東北大学）</p> <p>* ワークショップ 高橋守 ワークショップ講師「2013年北海道ムードルサマーワークショップ・研修会」2013年8月29日（於：帯広畜産大学）</p>
III 社会活動 ・受賞等	<p>* 社会活動</p> <p>1) 第64回全国英語教育研究大会（全英連秋田大会）分科会発表者、2013年11月1日～2015年3月31日</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) 全国語学教育学会秋田支部役員（支部長兼プログラム担当役員）、2013年10月～</p>
IV 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 平成25年度高校生未来創造支援事業 将来設計ガイダンス「文系分野」講師、2013年8月3日（於：秋田県総合教育センター）</p> <p>2) 大学高校連携授業講師「高校生英語セミナー」、2013年9月2日、10月21日（於：秋田県立大学）</p>
V その他の活動	<p>* 学術論文査読</p> <p>1) 日本ムードル協会 第6回日本ムードルムート投稿論文査読、2013年11月</p>

檜山 晋 教授

I 著書・学術論文等	<p>* 学術論文等</p> <p>1) Hiyama, Susumu. 「Element Order in <i>The Blickling Homilies</i>: Part IV」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2013年3月31日、第14号、67～76ページ（単著）</p>
V その他の活動	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 大学高校連携授業「由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業」、2013年5月13日、5月20日、5月27日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）</p> <p>2) 「学問別ガイダンス（英語学・言語学）」、2013年8月4日（於：秋田県立大学秋田キャンパス）</p>

スティーヴン・シュカート 准教授

I 著書・学術論文等	<p>* 学術論文等</p> <p>1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart 「Basic principles of creative writing in SLA」、『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2013年3月31日、第14号、57-66ページ (共著)</p> <p>2) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi、「Choosing a graded reader: Plot-driven versus character-driven stories」『Extensive Reading in Japan』(全国語学教育学会 多読研究部会) 2013年10月、第6巻2号、14~16ページ (共著)</p>
II 学会報告等	<p>* 学会報告</p> <p>1) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi、「Motivating students by talking about novels: on character-driven novels and plot-driven novels」全国語学教育学会 (JALT) 分野別研究部会2013年次大会、2013年5月18日 (於: 南山大学)</p> <p>2) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi、「Motivating students by talking about novels」全国語学教育学会 (JALT) 秋田支部例会、2013年5月25日 (於: ジョイナス)</p> <p>3) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart、「The Use of Imagery in Learning Vocabulary」全国語学教育学会 CALL/ER 分野別研究会、2013年6月1日 (於: 信州大学)</p> <p>4) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi、「Plot-driven vs. character-driven novels」日本アメリカ文学会東北支部例会、2013年12月21日 (於: 東北大学)</p>
III 社会活動・受賞等	<p>* 学会活動</p> <p>1) 全国語学教育学会秋田支部役員 (広報担当)、1999年6月~</p>
IV 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 大学高校連携授業講師「高校生英語セミナー」、2013年6月3日、6月24日、7月8日 (於: 秋田県立大学)</p>
V その他の活動	<p>* 報告</p> <p>1) 「秋田支部報告」全国語学教育学会 『The Language Teacher』、2013年第37巻 第3号、第4号、第5号、第6号、</p> <p>* 学術論文査読</p> <p>1) 査読委員 全国語学教育学会 CALL SIG 「CALL-EJ (http://callej.org/)」</p>

岡崎 弘信 准教授

I 著書・学術論文等	<p>* 学術論文等</p> <p>1) <u>Okazaki H</u>、Nitta H、Hashimoto S、Fukuda E、Kido K 「Development of web-based e-learning programs for extensive reading」『Journal of Japan e-Learning Association』2013年7月、vol. 13、40～48ページ（共著）</p> <p>2) 木戸和彦、江原智子、福田衣里、<u>岡崎弘信</u> 「脳波積分値に関するパイロット研究：基礎学力可視化のために」『環太平洋大学紀要』2013年3月、第7号、107～114ページ（共著）</p> <p>* Proceeding</p> <p>1) Fukuda E、<u>Okazaki H</u> 「Reading and writing activities with a social networking website in a writing course」『CONFERENCE PROCEEDINGS of World CALL 2013』2013年7月、2 ページ（共著）</p>
II 学会報告等	<p>* 学会報告</p> <p>1) Fukuda E、<u>Okazaki H</u> 「Reading and writing activities with a social networking website in a writing course」World CALL 2013、2013年7月10～13日（於：Scottish Exhibition and Conference Centre in Glasgow, UK）</p> <p>2) 木戸和彦、江原智子、福田衣里、岩崎彰典、<u>岡崎弘信</u> 「多様な記録メディアの音声素材を教材化する音読学習端末の研究と開発」外国語教育メディア学会第53回全国研究大会、2013年8月7～9日（於：文京学院大学）</p> <p>3) <u>岡崎弘信</u>、福田衣里、新田晴彦、木戸和彦 「字幕再考：視覚追尾システムを用いて」映画英語教育学会第19回全国研究大会、2012年8月6日（於：相模女子大学）</p>
III 社会活動・受賞等	<p>* 社会活動</p> <p>1) 秋田県生活環境文化部県民文化政策課主催「あきたの文芸」小説・評論部門選考委員、2012年4月～</p> <p>2) TDK 由利本荘(株)英語アドバイザー、2011年6月～</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) 映画英語教育学会東日本支部委員、2013年11月～</p>
IV 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業、2013年10月28日、11月18日、25日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）</p>
V その他の活動	<p>* 助成研究</p> <p>1) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（B））、「テーラーメイド型教育カルテの構築と学習最適化の研究」（研究課題番号25282061）、2013年4月～2017年3月、研究代表者</p>

総合科学教育研究センター個人業績

	<p>2) 日本学術振興会科学研究費（挑戦的萌芽研究）、「視線解析と光イメージング脳機能測定を併用した英文読解の個人差特定に関する研究」（研究課題番号24652124）、2012年4月～2014年3月、研究代表者</p> <p>3) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（C））、「重大インシデント回避のための航空管制英語の研究」、2013年4月～2016年3月、研究分担者</p> <p>4) 平成25年度秋田県立大学学長プロジェクト（創造的研究費）、「工学的手法を用いた英語リスニングにおける学習最適化の研究」、2013年4月～2014年3月、研究代表者</p> <p>* 報告書等</p> <p>1) 平成24年度学長プロジェクト研究成果報告書、「視線追尾システムによる英語リーディングの個人差特定に関する研究」2013年9月、57～59ページ</p> <p>* 選評</p> <p>1) 岡崎弘信「選考を終えて」『あきたの文藝』（秋田県）2013年10月25日、第46集、96～97ページ</p> <p>* 学術論文査読</p> <p>1) Language Education & Technology Vol.50（1本）</p>
--	--

Terri L. Nagahashi 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>* 学術論文等</p> <p>1) Nagahashi, T. L. 「Explore Oregon, USA: Results of a Successful Short-Term Study Abroad Program」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2013年3月31日、第14号、77～99ページ（単著）</p> <p>2) Nagahashi, T. L. 「2012 Akita Prefectural University Overseas Study Tour "Explore Oregon, USA"」『米国・オレゴン州語学研修プログラム報告集』（秋田県立大学 国際交流室）2013年3月、1～31ページ（単著）</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p>	<p>* 社会活動</p> <p>1) 英検2級試験監督、2013年6月9日（於：秋田県立大学秋田キャンパス）</p> <p>2) 鳥海高原菜の花まつりボランティア、2013年6月1日、2日（於：由利本荘市矢島町城内字桃野）</p> <p>3) 財団法人中島記念国際交流財団助成による留学生地域交流事業「秋田の農家民泊体験から持続的交流へー」ボランティアリーダー、2013年10月5日6日、11月9日</p> <p>4) あきたキイチゴ活用研究会研究員、2008年～（於：秋田県、五城目町）</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p>	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 秋田中央高等学校（"Super Science High School"）「和食の科学」2013年12月14日（於：秋田県、秋田）</p> <p>2) Akita JALT（Japan Association of Language Teachers）「Making the most of</p>

	<p>study abroad」2013年11月16日（於：秋田県、秋田）</p> <p>3）平成25年度秋田県立大学高大連携授業（Assistant Director）「秋田県立大学に隣接する高校生等によるコンピュータを使つての英語学習について」、2013年7月21日（於：秋田県立大学）</p> <p>4）平成25年度あきたキイチゴ利活用研究会講演「Utility of raspberry byproduct (seeds and pulp) in raspberry liqueur and infused raspberry vinegar.」2013年1月21日（於：秋田県、五城目町）</p>
V その他の活動	<p>*その他</p> <p>1）平成24年度秋田県立大学自主研究指導教員「秋田産ラズベリーによる地域復興」、2013年1月～7月</p>

加賀谷 真澄 助教

II 学会報告等	<p>*学会報告</p> <p>1）加賀谷真澄「明治の貧民表象とイースト・エンドー桜田文吾から横山源之助に伝えられたもの」平成25年度筑波大学比較・理論文学会年次大会、2013年2月16日（於：筑波大学）</p> <p>2）加賀谷真澄「桜田文吾の『貧天地飢寒窟探検記』とそのモデルーイギリスの貧困表象との比較」日本比較文学会第75回全国大会、2013年6月15日（於：名古屋大学）</p> <p>3）加賀谷真澄「明治三〇年代の渡米熱ー横山源之助と片山潜のアメリカ」「帝国日本の文学研究・教育」研究会、2013年7月6日（於：筑波大学）</p> <p>4）Masumi Kagaya「Abandment or New Venture ? A Comparison of Emigration Discourse in 19th-Century England and Japan」International Comparative Literature Association 2013 Paris、2013年7月18～24日（於：Universite de Paris）</p> <p>5）加賀谷真澄「一八九〇年代の貧困表象と横山源之助の「労働小説」ープロレタリア文学以前」日本比較文学会二〇一三年度東北大会、2013年11月30日（於：カレッジプラザ）</p>
III 社会活動・受賞等	<p>*学会活動</p> <p>日本比較文学会東北支部幹事、2013年6月～</p>
V その他の活動	<p>*助成研究</p> <p>1）日本学術振興会、挑戦的萌芽研究、「明治に出版された渡米の手引き書に関する研究」（研究課題番号25580060）研究代表者</p> <p>その他</p> <p>1）講演記録「文学と差別ー海外逃避の物語」『平成24年人権問題研究集会講演記録集』、奈良女子大学部落問題委員会、2013年4月1日発行</p>